

# 2023年12月期 第1四半期決算説明資料

当社の設立は2018年7月ですので、2018年6月までの実績は  
モバイルクリエイイト株式会社の連結実績で集計しております



2023年12月期第 1 四半期決算概要	p. 2
事業のトピックス	p. 8
中期経営計画概要	p. 14
補足資料	p. 18

# 2023年12月期第 1 四半期決算概要

---

## IoTセグメントが好調継続で新規サービス開発を推進中

大型のフロー案件などで過去最高益であった前年1Qと比べると減収減益となったものの、IoTセグメントのフロー売上高の減少の影響であり、中期経営計画どおりにサブスクへの移行戦略を推進

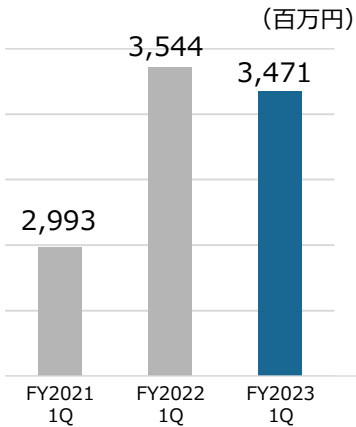
- ✓ 懸念であったIoTデバイスの部材調達不足については一定数を確保（今後も調達先との交渉を継続）
- ✓ サブスク売上高は順調に拡大（前年度大型案件の横浜敬老パスは運用に移行済）
- ✓ マシンセグメントはロボットの増産体制に着手（機器部品の長納期化への対応は継続）
- ✓ ロボットは本体の製品化から制御層の新規システム開発へ着手（FY2024に向けた成長ドライバーであり中核事業へと育てる）
- ✓ ペイメントは非接触決済の新サービスを開発中（デジタルチケットやマシンレスへの取組みを推進）

# FY2023 1Q 業績サマリー

## 売上高

**34.7** 億円

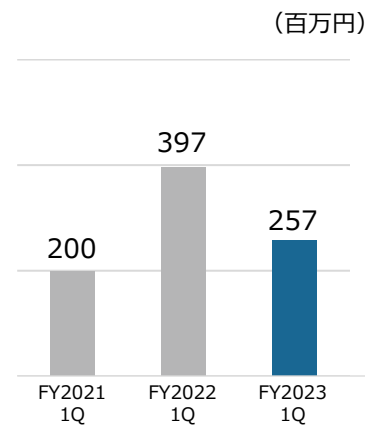
前年同期比：△2.1%  
 通期業績予想：13,000 百万円  
 進捗率：26.7%



## 営業利益

**2.5** 億円

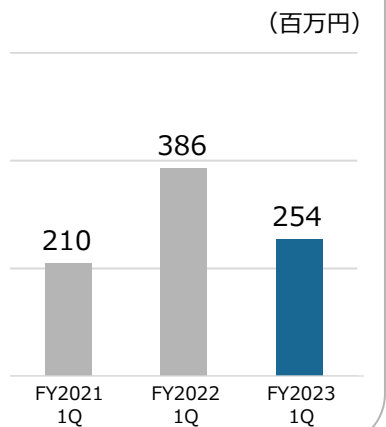
前年同期比：△35.3%  
 通期業績予想：520 百万円  
 進捗率：49.4%



## 経常利益

**2.5** 億円

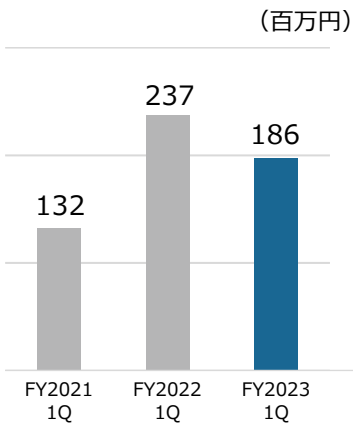
前年同期比：△34.2%  
 通期業績予想：485 百万円  
 進捗率：52.4%



## 最終利益

**1.8** 億円

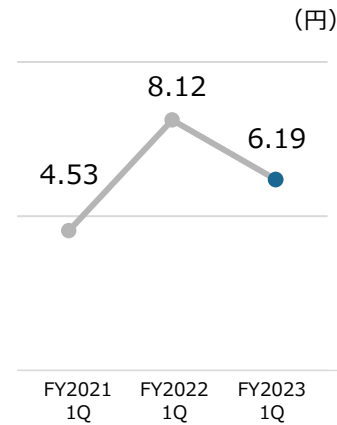
前年同期比：△21.6%  
 通期業績予想：324 百万円  
 進捗率：57.4%



## EPS

**6.19** 円

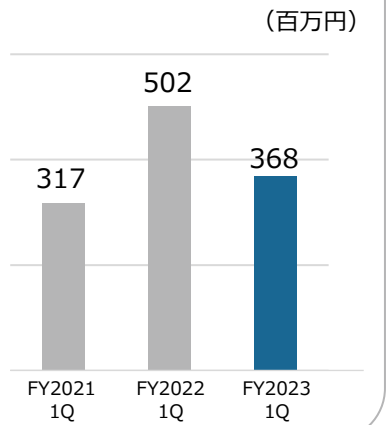
前年同期比：△1.93 円  
 通期業績予想：10.35 円  
 進捗率：—



## EBITDA

**3.6** 億円

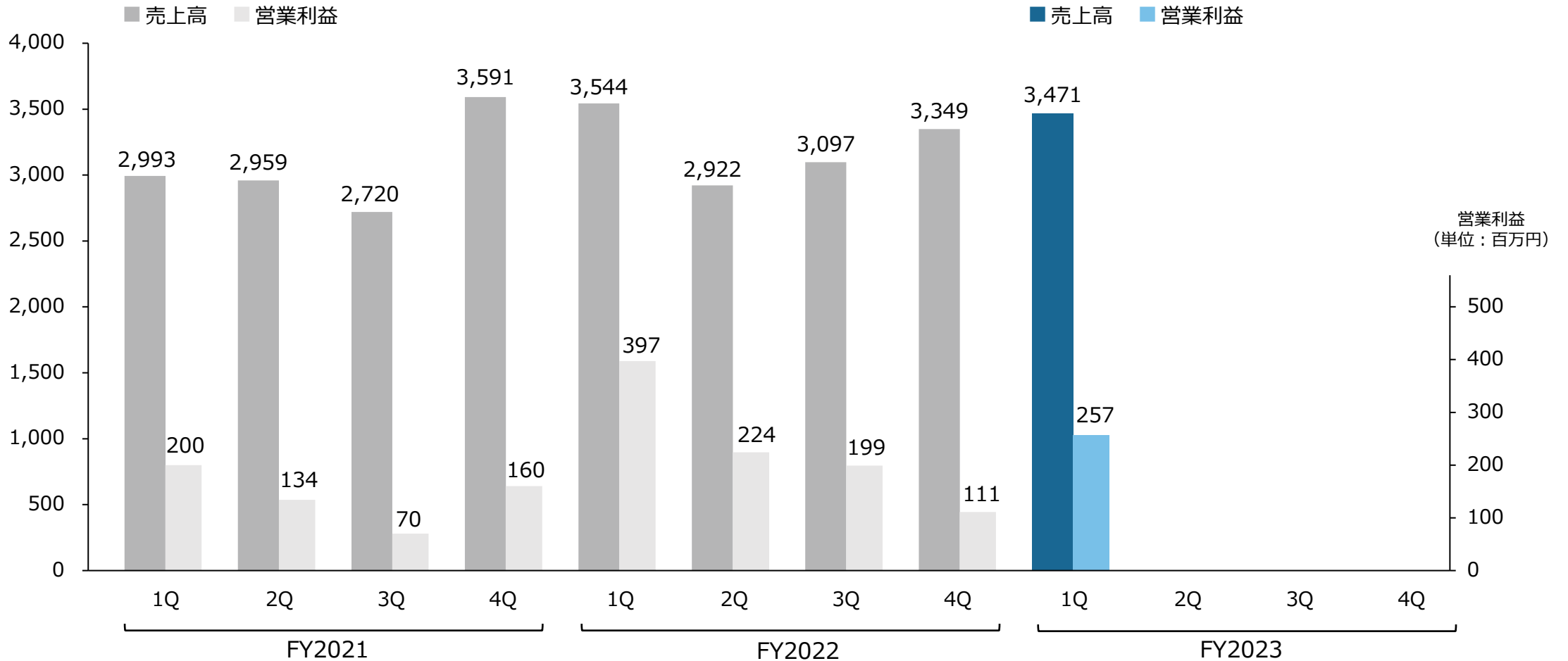
前年同期比：△26.6%  
 通期業績予想：—  
 進捗率：—



※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益  
 ※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

# 四半期業績（売上高・営業利益）

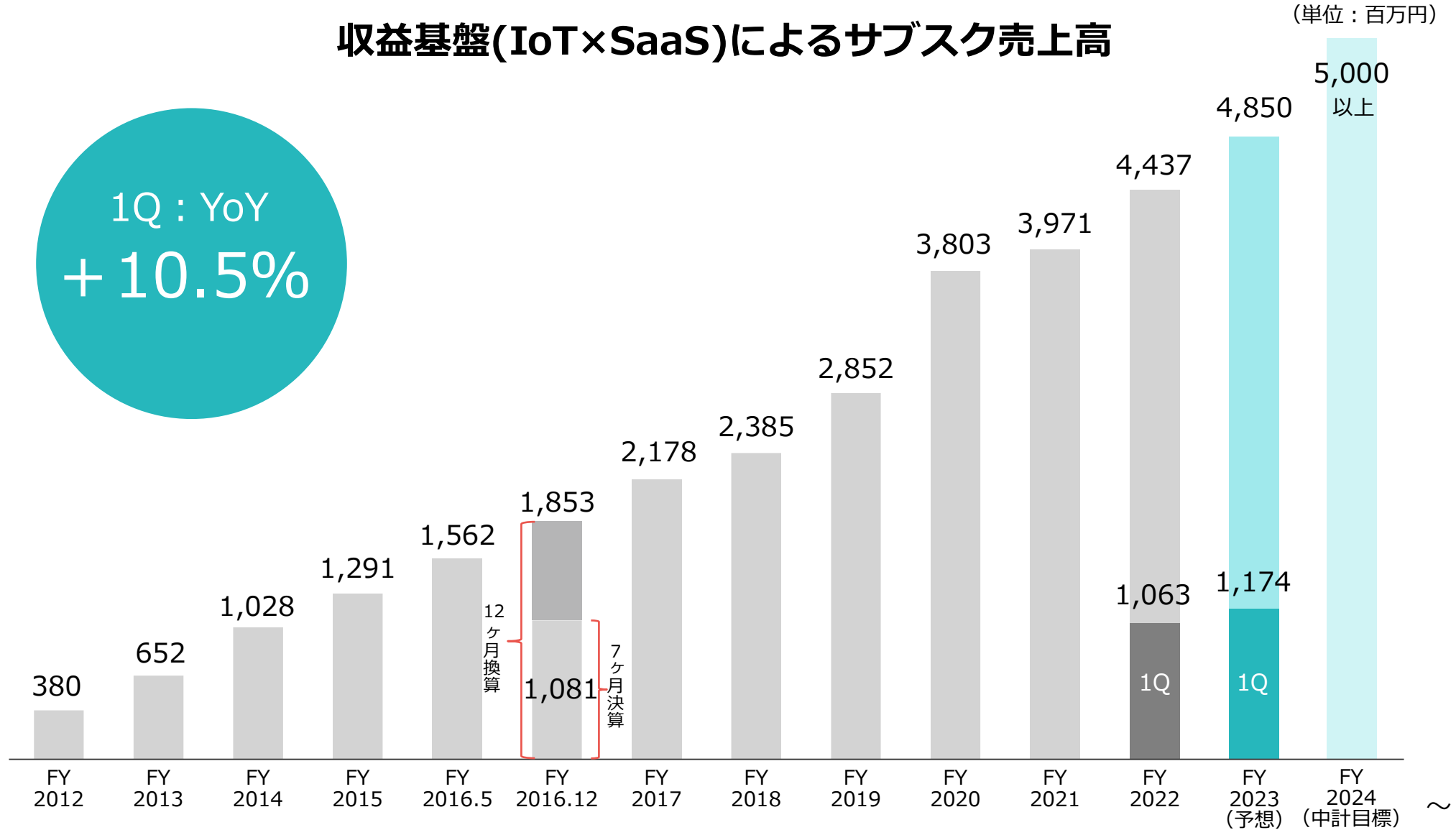
売上高  
(単位：百万円)



収益基盤(IoT×SaaS)によるサブスク売上高

(単位：百万円)

1Q : YoY  
+ 10.5%

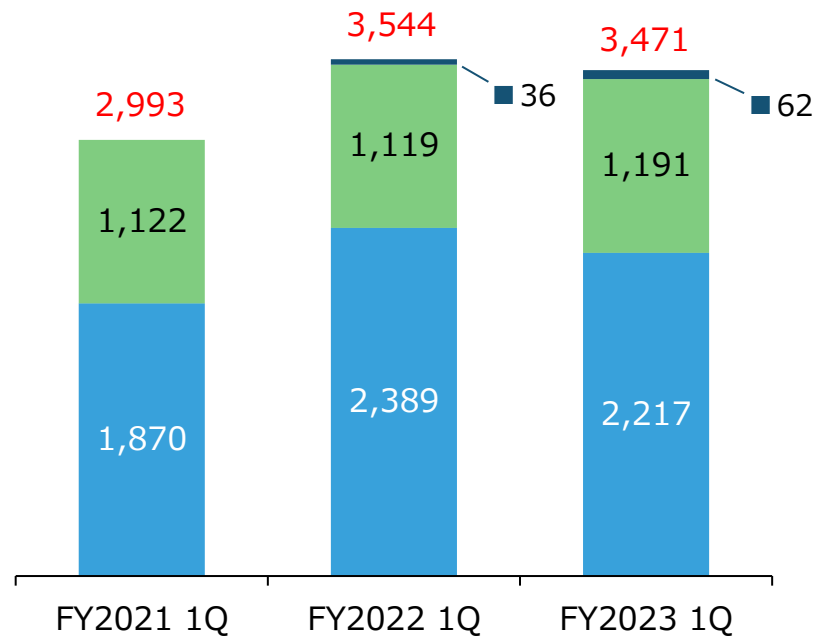


# セグメント別業績

## 売上高

(単位：百万円)

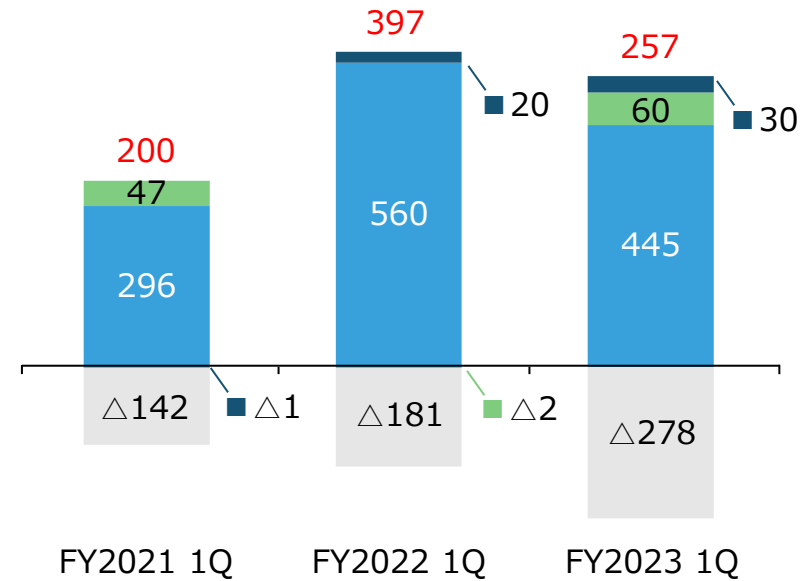
■ IoT ■ マシーン ■ スマートシティ



## 営業利益

(単位：百万円)

■ IoT ■ マシーン ■ スマートシティ ■ 調整額



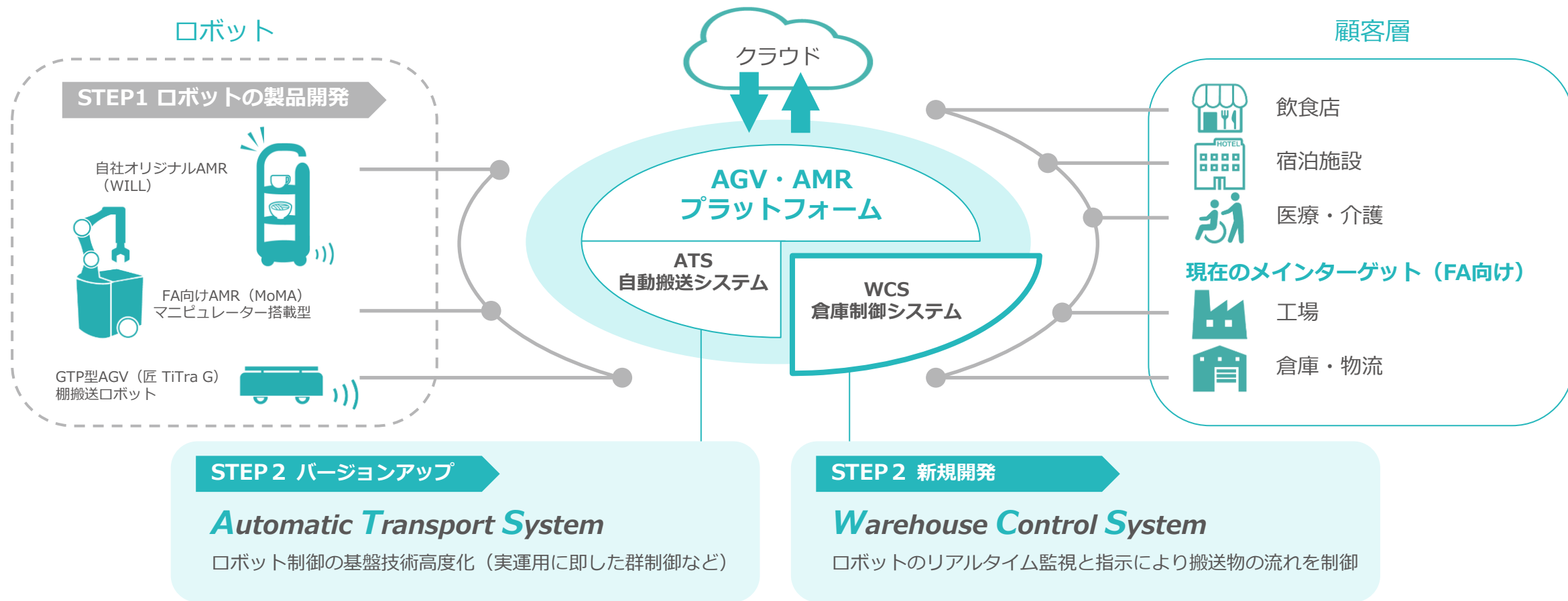


# 事業のトピックス

---

# ロボット事業の成長に向けた取組み

ロボット製品化に加えてWCS（倉庫制御システム）の内製化に着手  
垂直統合型システム（ロボット～ATS～WCS）とデジタルツインを活用した提案にて競争優位性を確保



**FY2023売上目標10億円に対して現在8億円超の受注済案件を確保、FY2024に売上高拡大へ**

# ロボットがエレベーターを使用し客室まで自動配送する実証実験を実施

ciRobotics

- ✓ 無人配送ロボットの開発及びシステム開発
- ✓ エレベーター連携

五島エレベーター  
GOTO ELEVATOR CO.,LTD.

- ✓ エレベーターのハードウェア対応

ホテル別府  
パストラル

- ✓ 実証実験テストフィールドの提供
- ✓ ホテルスタッフによる実運用



エレベーターでフロア間を移動



指定された客室まで配送

## エレベーター連携によるフロア間の移動

エレベーターを呼び出し、指定されたフロアに到着するエレベーター専用モードを実装

- ▶ 操作盤に制御線を接続するためエレベーター自体の改造は不要
- ▶ 現地作業は制御線の取り出しのみ



## コスト削減と工事期間の短縮を実現

### ロボット及びシステム開発

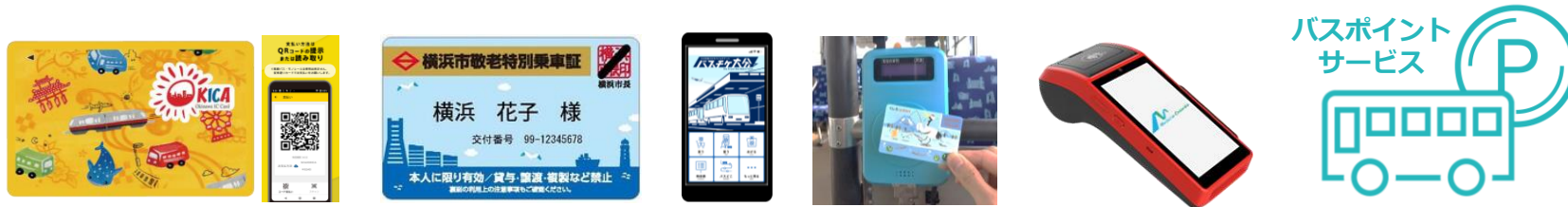
- ▶ エレベーター内検知用AIカメラを搭載し、エレベーター内の人との衝突リスクを回避
- ▶ 中継地点設定機能、自動帰還機能、荷台ロック機構と到着時の自動開閉機能
- ▶ デジタルサイネージ搭載による広告等表示

### 今後の展開

- ✓ ホテルのマルチメディアシステムとの連携（注文受付）
- ✓ 段差走行性能の向上（液体物等のルームサービスに対応）

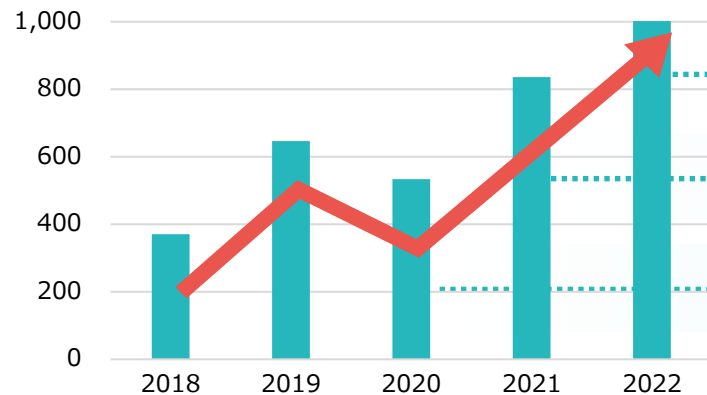
## 現在の取り組み

- ✓ キャッシュレスプラットフォーム化による各種サービス連携の充実
- ✓ ABT方式（Account Based Ticketing）によるサービス（横浜敬老パス・バスチケ大分）の深堀および横展開
- ✓ マシンレスや非接触決済サービスを促進



## 新型コロナ影響で苦戦していたタクシー関連は、決済取扱高が伸長

月額決済取扱高（各年度の12月を比較）  
（単位：百万円）



### デジタルタクシーチケットやマシンレス決済の開発を推進

2022年：コロナの終焉見通しとともに、伸長基調へ

2021年：キャッシュレスニーズの高まりで取扱高UP

2020年：コロナ影響により乗客が減少し取扱高が下落

## 複数アプリのワンタブレット化で ドライバーの業務効率改善と操作性・安全性の向上へ

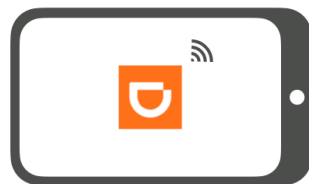
従来

2つのタブレットでそれぞれの注文を受注

タクシー車内に機器が多く、  
ドライバーの負担が大きい



無線用タブレット



「DiDi」タブレット



今後

無線用タブレット上で2つのアプリを利用可能に  
(アプリの自動切替機能)



DiDi



無線用タブレット



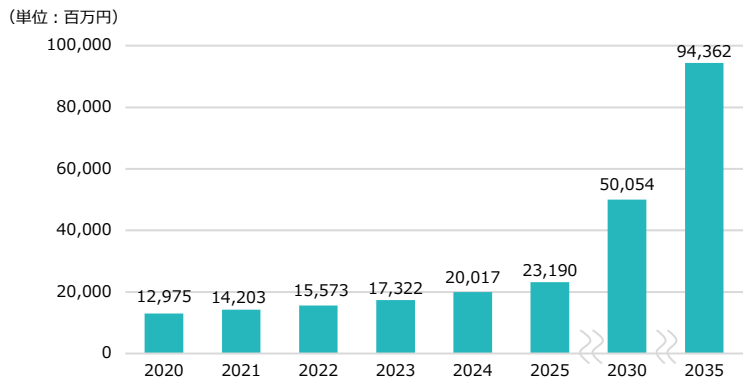
# iMESHシリーズ 動態管理に特化したデバイスをリリース予定

## iMESHシリーズラインナップ



## 業務車両の接続サービス市場予測

- ✓ 2035年に向けて市場規模は約7倍（2020年比推計）
- ✓ MaaS領域なども市場拡大

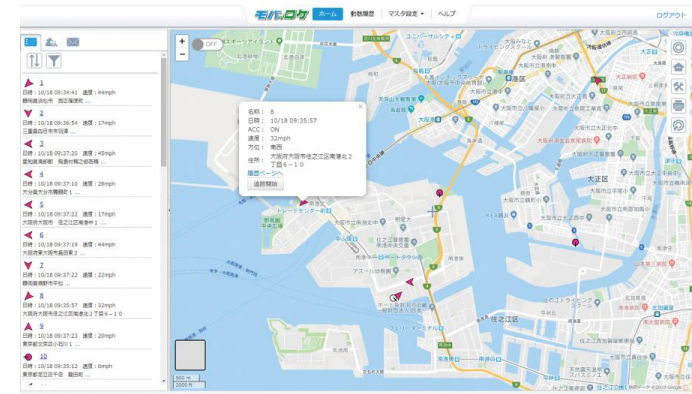
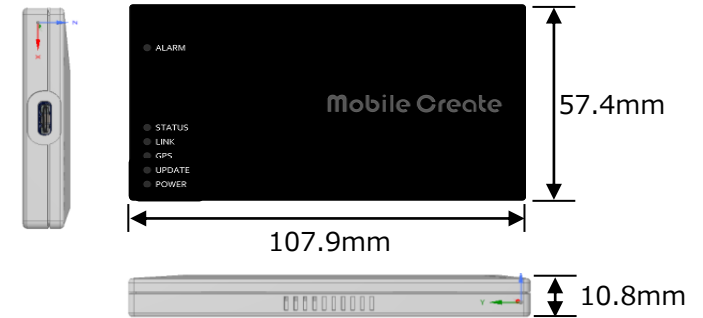


出典：2021年度版 業務車両/MaaS車両向け接続サービス市場予測（矢野経済研究所）

## GPSトラッカー「IM-830」の開発

### 動態管理に特化したサービスでターゲット市場の拡大

- ✓ IP無線+動態管理から動態管理のみを必要とする顧客に低価格で提供
- ✓ 高精度な位置情報と充実の機能を搭載した「モバロケ」を利用可能



動態管理システム「モバロケ」

# 中期経営計画概要

## FY2022 – FY2024

---

実績値と直近の業績予想については数値を更新しております

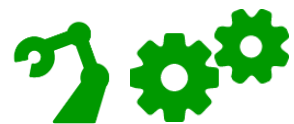
## IoT事業を支えるマシン事業とスマートシティ事業

IP無線 タクシー バス トラック ペイメント ホテル ロボット ドローン

### IoT (基盤拡大+成長投資)



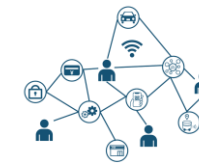
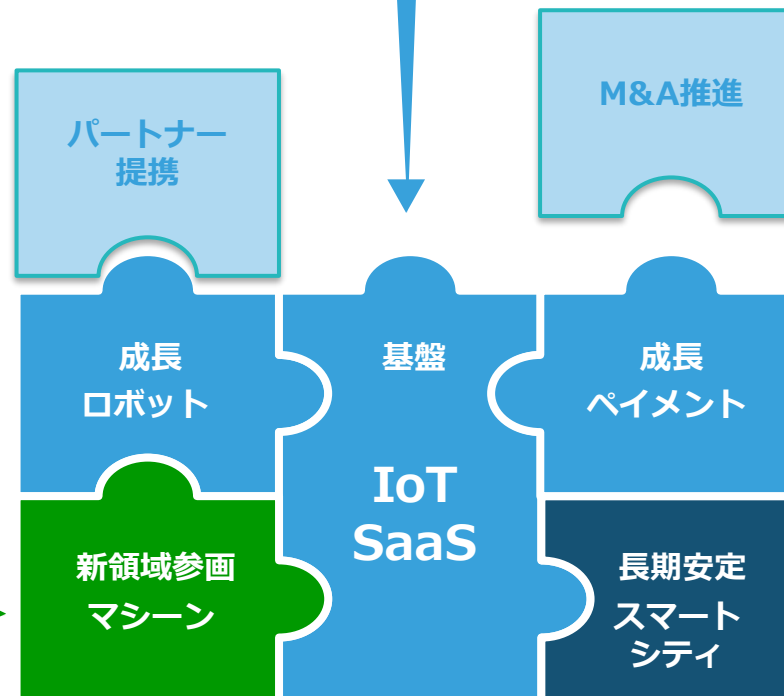
積極的投資とM&A推進による成長  
 基盤のIoT×SaaS事業拡大  
 ペイメント事業とロボット事業を新たな中核事業に発展 (3年後に単独セグメント化を目指す)



半導体製造・自動車関連装置  
 ロボット製造

### マシン (改革・新領域参画)

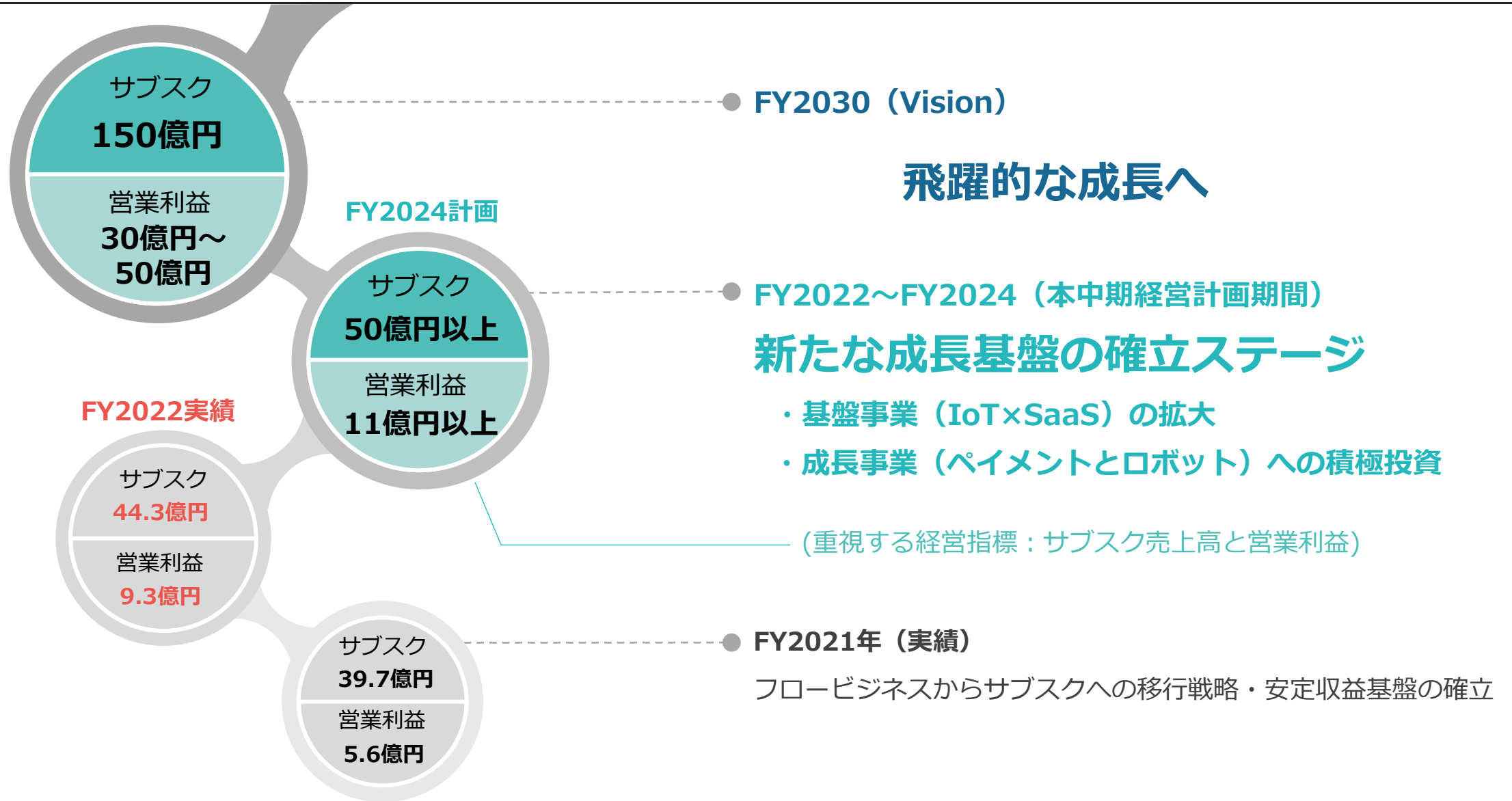
IoTに必要なモノづくりの技術領域として  
 規模拡大ではなく質の向上 (収益改善)  
 ロボット事業に本格的参画 (改革)



### スマートシティ (長期安定)

賃貸マンション30年一括借上契約  
 の長期安定収益  
 スマートシティの実証フィールド  
 としてIoTを支える





## KPI（収益と資本効率）

	FY2021（実績）	FY2022（実績）		FY2023（予想）	FY2024（KPI）
サブスク売上高	39.7億円	44.3億円	→	48.5億円	50.0億円以上
営業利益	5.6億円	9.3億円	→	5.2億円	11.0億円以上
EPS	15.12円	23.36円	→	10.35円	24円以上
ROE	5.2%	7.5%	→	—	8%以上
ROIC	2.7%	3.8%	→	—	4.5%以上
売上高（全体）	122.6億円	129.1億円		130.0億円	—
株主資本コスト <small>（CAPMによる算出）</small>	4.8%	5.3%			
WACC	2.9%	3.3%			

## 補足資料

---

## セグメント別業績（四半期推移）

単位：百万円

売上高	2022年12月期					2023年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	3,544	2,922	3,097	3,349	12,914	3,471				3,471	△73	△2.1%
IoT	2,389	2,120	2,172	1,991	8,672	2,217				2,217	△171	△7.2%
マシーン	1,119	746	859	1,295	4,020	1,191				1,191	+71	+6.4%
スマートシティ	36	55	66	62	220	62				62	+25	+70.9%

営業利益	2022年12月期					2023年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	397	224	199	111	932	257				257	△139	△35.3%
IoT	560	318	349	181	1,410	445				445	△114	△20.5%
マシーン	△2	74	40	146	259	60				60	+62	—
スマートシティ	20	36	27	31	115	30				30	+9	+49.0%
調整額	△181	△205	△218	△248	△853	△278				△278	△97	—

# 貸借対照表

単位：百万円

	2022年12月期末		2023年12月期1Q			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	補足
流動資産	14,058	65.5%	14,576	65.8%	+518	受取手形、売掛金及び契約資産 +747
うち現預金	2,199	10.2%	2,187	9.9%	△11	
固定資産	7,405	34.5%	7,583	34.2%	+177	投資有価証券 +99 繰延税金資産 +90
資産合計	21,463	100%	22,160	100%	+696	
流動負債	5,803	27.0%	6,340	28.6%	+536	支払手形及び買掛金 △119 短期借入金 +405
固定負債	5,951	27.7%	6,295	28.4%	+344	長期借入金 +340
負債合計	11,754	54.8%	12,635	57.0%	+881	
純資産合計	9,709	45.2%	9,525	43.0%	△184	
負債・純資産合計	21,463	100%	22,160	100%	+696	

# 会社概要



FIG (東証プライム・福証本則)

純粋持株会社

商号

FIG株式会社 (Future Innovation Group, Inc.)

設立

2018年7月2日 ※グループ前身のモバイルクリエイイト設立は2002年

代表者

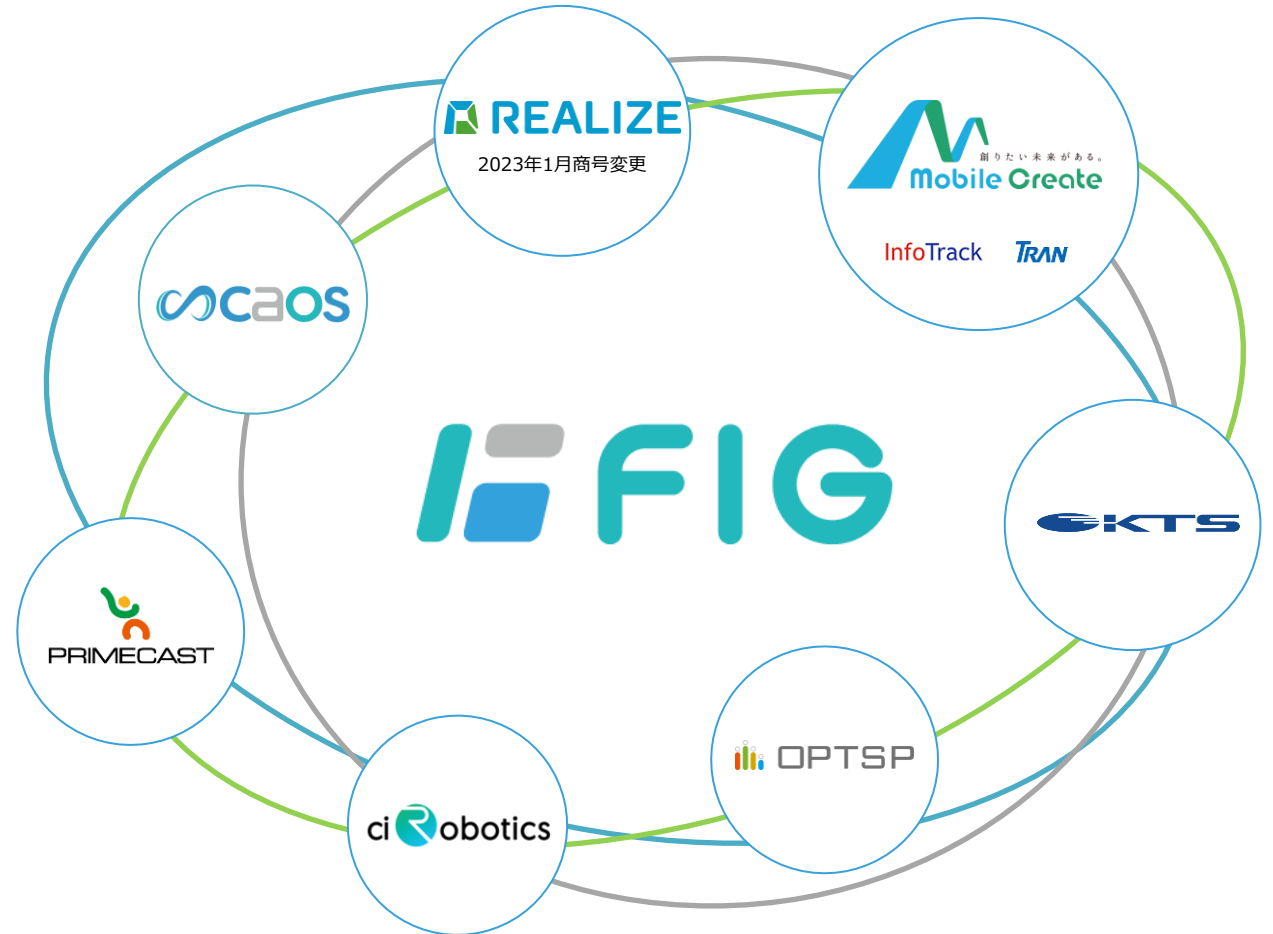
代表取締役社長 村井 雄司

所在地

大分県大分市東大道二丁目5番60号

従業員数

739名 (2022年12月末現在連結)



# FIGグループの主な事業紹介

## IP無線システム



携帯インフラを活用したIP無線システムのパイオニア。主力の車載タイプに加えて、防災市場ではハンディータイプが好調でLINE連携も展開。

## タクシー配車システム

タクシー配車システム、車載端末はタブレット化でメーターと連動。配車室受託が好調で、ユーザー向けLINE配車もサービス開始。



## ペイメント

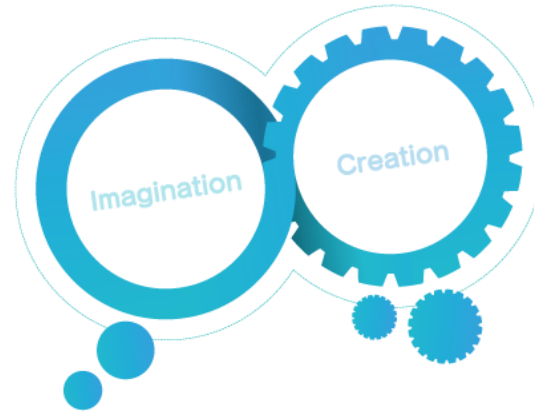
得意とする公共交通を中心にペイメントサービスを展開し、高いセキュリティ基準であるPCIDSSも取得。沖縄本島IC乗車券システムのOKICAは、商業拡張をスタート。



## バスロケーションシステム



バスの経路や乗り継ぎ検索、接近情報などをバス利用者へ提供。バスロケーションシステムでは、国内トップレベルのシェア。デジタルサイネージや混雑情報システムなども展開。



## 半導体・自動車関連自動化装置

自動車部品を製造する装置を開発から設計・製造・組立・販売・サービスまでトータルで手掛け、メーカーとして高い評価を得ています。



## ホテルスマート化



ビジネスホテルやシティーホテル向け客室のマルチメディアシステム、リネンシステム（客室清掃管理）や施設混雑案内システムなどIoTを活用しています。

## ロボット



マップデータを元に走行を行い、マニピュレーターが人の代わりに作業を行います。ロボットシステムインテグレーターだけでなく、自社オリジナル搬送ロボットも開発。

## ドローン



産業用ドローンの開発・販売を行っています。ドローン活用における省人化の実証実験にも参画しています（ドローン宅配・スマート農業・血液検体の輸送など）。

ESG・SDGsの視点を取り入れた事業戦略でサステナブル経営を目指す



Environment

ITで地球環境負荷低減へ貢献

- 自社の製品・サービスによる環境負荷低減
- 事業活動で排出される廃棄物削減、資源化率の向上、自然エネルギーの利用
- 有害物質使用削減への取り組み
- 地域環境の保全



Social

グループの技術で快適な未来を創造

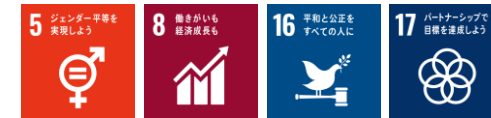
- Society5.0の社会を支える技術・サービスの提供（ドローン・ロボット）
- 持続可能な地域交通に貢献する（バス・タクシー）
- キャッシュレス化社会の実現に貢献する
- MaaSの普及に貢献する
- 防災・減災・安全に貢献する
- スマートホテルを実現する技術の追求
- はたらきやすさ（健康増進・ダイバーシティ推進）を提供する



Governance

経営基盤を強固にするためのガバナンスの強化

- コーポレート・ガバナンスの徹底
- 社外役員の登用
- 役員報酬額の決定方法
- コンプライアンスの順守・研修の実施
- 反社会的勢力排除への対応
- 情報セキュリティの強化







Future Innovation Group

- 【 連絡先 】 F I G株式会社 経営企画本部
- 【 住所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
- 【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。